

記入要領（付表3：学校用）

※付表は、親子方式およびセンター方式の場合でも各学校分を提出すること。

給食数	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の4月第3火曜日の給食数について、それぞれの欄に記入すること。なお、4月第3火曜日が給食休止日の場合は、直近の給食実施日で報告すること。 ・当該届出施設以外へ給食・配食を行っている場合は、「その他」にその食数を記入すること。
給食材料費	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度6月、2月の1日1人当たりの食材料費を記入すること。 ・人件費、光熱費、消耗品等は含めないこと。
食事時刻	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間について記入すること。
栄養管理体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの項目について、該当するものを○で囲むこと。
栄養管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の6月と2月に実施した完全給食について月平均を記入すること。 ・エネルギーから食物繊維までは、「給与栄養目標量」と「給与栄養量」をそれぞれ記入すること。 ・小数点以下の桁数は成分表に準じること。
提供した食事の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・該当するものを○で囲むこと。 有を選んだ場合には、その方法について該当するものを○で囲むこと。 ※食事内容の把握：利用者へ提供する食事全体の把握・評価状況を記載すること。喫食者アンケート結果や聞き取り、職員検食記録等を行っている場合に「有」とし、具体的な実施内容を記載する。
身体状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満並びにやせに該当する者の割合は、前年度の学校保健安全法に基づき実施された健康診断のデータから、学年毎に算出すること（経年変化を見るため、報告月は毎年同じ月であることが望まれる）。その際は、△年△月現在と分かるように記載すること。 ・前年度報告には、前年度に報告した把握状況について記載すること。 ※児童・生徒の肥満並びにやせに該当する者の割合の評価方法について <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健統計調査方式による肥満度判定を用いること。 ・肥満度の判定区分のうち、「肥満」については+20%以上、「やせ」については-20%以下の者の割合を記入すること。 $\text{肥満度（過体重度）} = \left[\frac{\text{実測体重（kg）} - \text{身長別標準体重（kg）}}{\text{身長別標準体重（kg）}} \right] \times 100（\%）$

身体状況の把握
(続き)

	やせ傾向		普通	肥満傾向		
	-20%以下			20%以上		
判定	高度やせ	軽度やせ		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満
肥満度	-30%以下	-30%超~ -20%以下	-20%超~ +20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上

身長別標準体重 (kg) = a × 実測身長 (cm) - b

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339

※日本小児内分泌学会、日本成長学会により、早見表や計算ソフトが公表されている。

衛生管理

- それぞれについて、該当するものを○で囲むこと。
- 実施した場合には前年度の回数も記入すること。
(保存食については、保存日数を記入すること。)

災害発生時の
体制

- それぞれについて、該当するものを○で囲むこと。
- 非常用食料等については、有の場合、児童生徒・職員・その他を含めた数を記入すること。